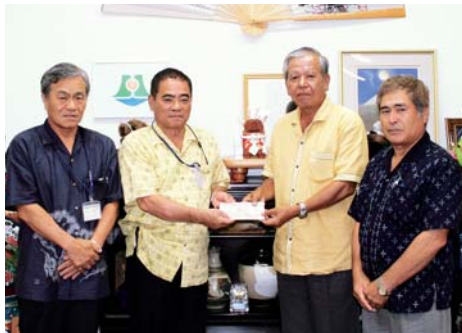


八重瀬町土建部会 人材育成に寄付金贈呈 子どもたちの育成に活用してほしい



一周年を迎えた44社で結成される八重瀬町土建部会が6月17日、八重瀬町役場を訪問しました。平田満義会長と比屋根英文副会長、平仲勉書記、新垣光男会計の4役から八重瀬町人材育成に50万円が贈呈されました。平田会長は「この寄付を使って子どもたちの育成に有効活用してもらい、将来優秀な人材が町からでてきてくれるとうれしいです」と話しました。



南部工業高校 4 連覇達成

県高校総体の重量挙げで団体戦4連覇を達成した南部工業高校の選手と学校関係者が6月5日八重瀬町役場を表敬訪問し中村町長に優勝を報告しました。4連覇を達成した高校は、沖縄県で南部工業が初めて。町長は、「4連覇という成果の影には、これまでウエイト部を支えてきた先輩たちや指導してくれた先生方、選手たちの家族の努力があったと思います。これからもがんばってください」と激励し、



選手たちも6月に行われる男子の九州大会と7月に和歌山開催される女子の全国大会で優勝することを目標に掲げ力強く挨拶しました。

赤十字奉仕団出発式

医療事業や福祉事業など県民の生命と健康を守り、福祉を増進させるための諸事業を推進している赤十字奉仕団の出発式が5月17日、八重瀬町役場で行われました。赤十字事業は、赤十字の人道的事業に賛同される社員(法人・個人)の皆さま方からの社費と県民の皆さまからの寄付金を財源としておこなわれており、県民1人ひとりのご協力が必要です。ご協力を呼びかけるときには、どうぞよろしくお祈りします。



東風平西部地区 農業活動拠点施設 成を受け落成記念式 典・祝賀会

今年3月末、小城に東風平西部地区地域農業活動拠点施設が完成したことを受けて、5月27日に落成記念式典・祝賀会が執り行われました。



営農技術の向上や農業経営の向上を図るために建設された当施設は、利用対象者が主に小城集落。さらに土地改良区組合員に加入している集落外の通作農家も含まれており、幅広い方を対象にした活動の拠点になることが期待されています。

主な施設と利用内容は、土地利用・生産調整会議や各種営農研修会等に利用する営農研修室や農作業の準備・休憩に利用するための農作業準備休憩室、地域特産品の研究・開発・加工や料理講習会及び料理体験教室に利用するための農産加工室、その他、資料室や農産加工品展示ルームなどがあります。

ときわ苑 認知症対応型共同生活介護サービスの提供開始を受けて落成式・祝賀会



社会福祉法人 憲寿会 グループホームときわ苑（理事長金城憲保、施設長金城武、管理者金城哲男）は、6月9日、認知症対応型共同生活介護サービスの提供を6月1日から始めたことを受けて当施設内にて落成式典・祝賀会を開催しました。このサービスは、「要介護」の認定を受けている人を対象に、認知症の高齢者が家庭的な雰囲気の中、利用定員九人で共同生活を送りながら、日常生活の介護を受けられる内容になっています。利用設備は居室、居間、食堂、浴室などで、利用者がそれぞれ役割を持って家事をするなどして、痴呆症状の進行を緩和し、安心して日常生活が送れるようになることを目指します。

鉄道を通して こどもたちに夢を

子どもたちに夢を与えたいという思いで糸満市出身の屋嘉比柴盛さんが6月7日町役場を訪問し、鉄道関連資料とビデオ展示品を寄贈しました。昭和27年に日本国有鉄道に入社し35年間勤務してきた屋嘉比さんは、これまでたくさんの鉄道に乗り全国各地を旅してきました。「沖縄には鉄道がないので資料や展示品を通して関心を持ってもらいたい。それによって子どもたちに夢をあたえられたらうれしいです」と話しました。



音訳サークル「やえせ」 総会を開催

音訳サークル「やえせ」の総会が5月26日、八重瀬町社会福祉会館で開催され20名が参加しました。音訳サークルは、社協と役場の広報誌「社協だより」と「広報やえせ」をテープに声として訳し町内のリスナーさんに提供しています。総会では、新会長も決まり新年度に向けての計画をたてているところです。赤嶺洋子新会長は、「今年度も音訳の編集を通してリスナーさんに多くの情報を提供し、サークルの活動を実りあるものとしていきたい」と話しました。



食育講演会 健康について考えると共に食育の理解を深める



文部科学省・八重瀬町の食育推進事業を受け、「食育」のモデル校に指定されている具志頭小・中学校は、6月3日具志頭小学校において食育講演会を開催し具志頭小学校生徒約200名と保護者100名が参加しました。講演会は、講師に具志頭小学校の学校医である「てるや整形外科」の照屋勉さんを招き「食育」と「貯筋」と題したテーマで行われ、参加者たちは健康について考えると共に食育の理解を深めました。また、講演の後には、照屋さんに質問する時間を設け参加者からいくつかの質問があり、保護者たちから食育の関心の高さが伺われました。

